

2008 年度第 2 回学術委員会議事録

日 時：2008 年 10 月 17 日 16:00～18:00

場 所：日本建築学会北海道支部事務局会議室

出 席：角、桂、羽山、門谷、小林（代理；酒井）、水野（代理；池上）、南、中渡、濱

欠 席：桜井、鈴木、長谷川

配布資料：

2-0：式次第

2-1：2008 年度第 1 回学術委員会議事録（案）

2-2：日本建築学会北海道支部 学術委員会・委員名簿（2008）

2-3：学術推進委員会拡大幹事会予定議案

2-4：専門委員会・特定課題研究委員会報告

2-4-1：構造専門委員会

2-4-2：材料専門委員会

2-4-3：環境工学専門委員会

2-4-4：建築計画専門委員会

2-4-5：都市計画専門委員会

2-4-6：都市防災専門委員会

2-4-7：寒冷地工事仕様調査研究委員会報告

2-5：特色ある支部活動企画計画書

2-5-1：積雪寒冷地における津波避難施設の要求性能に関する調査研究（都市防災専門委員会）

2-5-2：北海道における建築歴史学の研究史（歴史意匠専門委員会）

2-6：特定課題研究委員会申請書

2-6-1：積雪寒冷地における津波避難施設の要求性能に関する調査研究（都市防災専門委員会）

2-6-2：住環境の変化が身体へ与える影響の実態把握（環境工学専門委員会）

2-7：建築文化週間事業企画案（都市防災専門委員会）

2-8：支部研実行委員会の実施結果と今後の計画（支部研実行委員会）

議 事：

- 1．前回議事録の確認：紹介され了承された。
- 2．委員名簿確認：内容が確認された。なお、次回の委員会より支部研実行委員会主査が羽山から瀬戸口へ変更になる。
- 3．学術推進委員会拡大幹事会：
 - ・ 今年度から本部の学術推進会議は拡大幹事会となり、北海道支部からの出席がなくなり、資料のみ送付されるようになった。
 - ・ 2008 年度大会（中国）大会は、講演発表：6376 題、建築デザイン発表：175 題だった。
 - ・ 各種表彰式、研究協議会、PD、研究協議会との企画が多く、掛け持ち参加するにも困難なケースが散見された。研究集会の定義を明確にし、開催数の制限を設ける予定である。
 - ・ デジタルライブラリーの利用料金、サービス公開時期など議論があった。
 - ・ 大会の講演欠席者数が増えている。今後とも代理発表は認めない。しかし、予稿集からの削除はできない。

- ・ 2009 年度大会は 9 月 4 日（金）～6 日（日） 東北大学で実施される。

4．専門委員会・特定課題研究委員会報告

- ・ 構造専門委員会（資料 2-4-1 桜井主査の代理桂氏）：次回委員会開催予定（12 月上旬、室蘭工大、藤間聡名誉教授の講演） 構造専門委員会・JSCA 北海道支部共催講演会の実施報告（10/2、講師；建築研究所・飯場正紀氏） 現場見学会予定（10/21；北洋大通りセンター工事現場）
- ・ 材料工学専門委員会（資料 2-4-2 桂主査）：開催された 3 回の委員会の報告、構造専門委員会と共催の現場見学会予定（10/21；北洋大通りセンター工事現場）
- ・ 環境工学専門委員会（資料 2-4-3 羽山主査）：第 37 回サイエンス・カフェ札幌の後援（10/25、講師；北海道大学・菊田弘輝助教） 空気調和・衛生工学会北海道支部・地区講演会（札幌）の後援（12/19、講師；武蔵工業大学・宿谷昌則教授、北海道大学・絵内正道教授）
- ・ 建築計画専門委員会（資料 2-4-4 門谷主査）：委員会で開発・運用している Web サイト「Mozilla Firefox」の運用状況の報告
- ・ 都市計画専門委員会（資料 2-4-5、小林主査代理？氏）：見学会・交流会（10/3；建築計画に関わる人材育成のきっかけとなる場「プロと話そう」）
- ・ 歴史意匠専門委員会（水野主査の代理池上氏）：建築文化週間事業「歴史的建造物から夕張の歴史と未来を考える」（10/4、参加者 73 名）
- ・ 都市防災専門委員会（資料 2-4-6 南主査）：地震防災シンポジウムの後援（10/3、パネリスト；高井伸雄、草刈敏夫、コーディネーター；南慎一） 建築文化週間事業「地震防災体験学習 in なかしべつ」（10/4） 都市防災・構造合同専門委員会及び講演会（12/5、講師；室蘭工大・藤間聡名誉教授）
- ・ 寒冷地工事仕様調査研究委員会報告（資料 2-4-7、長谷川主査の代理桂氏）：今年度の活動趣旨、委員会の開催状況、開催予定の報告

5．特色ある支部活動企画計画書

- ・ 今年度は北海道支部へ応募された 2 件の企画を本部へ申請した。本部での審査結果は未だ報告されていない。
- ・ 積雪寒冷地における津波避難施設の要求性能に関する調査研究（資料 2-5-1 南主査）：本研究は(1)津波浸水危険地区の予測、(2)津波非難シミュレーション、(3)津波非難施設の要求条件の整理を行う。委員は都市防災専門委員会の 5 名を予定している。
- ・ 北海道における建築歴史学の研究史（資料 2-5-2、水野主査の代理池上氏）：先輩・現役研究者、若手学徒らが集い、あらゆる裏付けを確認しながら正確な歴史的事実を後世に残し伝えることを目的とする。委員は歴史意匠専門委員会の 16 名を予定している。

6．特定課題研究委員会申請書の審査

- ・ 2 件の申請者から内容の説明の後、審査を行った。
- ・ 「積雪寒冷地における津波避難施設の要求性能に関する調査研究（資料 2-6-1）」を採択する。ただし、テーマ名も含め、特色ある支部活動企画計画と重複する箇所は変更することを条件とする。
- ・ 「住環境の変化が身体へ与える影響の実態把握（資料 2-6-2）」を本部助成に採択する。

7．2009 年度建築文化週間事業企画案の審査

- ・ 2009 年度建築文化週間事業企画として申請された「みんなで始める地震防災対策」(都市防災専門委員会)を採択する。
- 8 . 支部研実行委員会の実施結果と今後の計画 (資料 2-8 羽山主査)
- ・ 2008 年度の実施状況、決算 (8 月末) 部門別・カテゴリー別投稿数、組織別投稿数、2009 年度の委員名簿、開催校 (北海学園大学) の予定などが報告された。
 - ・ 各専門委員会は次年度の特別企画の案を検討し次回学術委員会(1 月開催予定)へ提案する。開催校 (北海学園大学) が主体となって企画する案も期待する。これらは次期支部研実行委員会へも伝える。
- 9 . 日本建築学会北海道支部技術賞
- ・ 2008 年度から募集を開始した本賞に関し、各専門委員会は関連する企業、団体などへ応募案内・推薦などに取組む。募集要項は会告および支部 HP へ掲載されている。募集期間は 2008 年 12 月 15 日～2009 年 1 月 15 日である。
- 10 . 日本建築学会建築大賞の推薦について
- ・ 学術委員会として推薦する候補者はいない。常議委員会で候補者が推薦されれば、それを支持する。
- 11 . 支部ホームページ改定用データ提供について
- ・ 更新が遅れている各専門委員会、各研究委員会は速やかに更新用のデータを事務局へ提出する。
- 12 . その他
- ・ 次年度の活動計画および予算案の提出に関し、事務局から各専門委員会へ電子メールで送信する。今年度は本部への予算案提出期日が例年より早くなると考えられる。速やかな対応をお願いしたい。
- 13 . 次回委員会予定
- ・ 2009 年 1 月 23 日 (金) 16:00～18:00、日本建築学会北海道支部事務局会議室

以上、羽山作成